令和６年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	観光振興課

施策名	誘客活動の推進	施策コード	0503
政策の柱	観光	政策体系コード	1(2)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策、北海道Society5.0推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	17
特定分野別計画	北海道観光のくにづくり行動計画		
SDGs		総合判定	やや遅れている

予算額（千円）	R6	953,639千円	R5	21,802,202千円	R4	40,870,923千円

施策目標	北海道観光の更なる高付加価値化のため、ターゲットを明確にした観光戦略に結びつくきめ細かなマーケティングを展開し、自然や食等の地域資源を活用した多彩なツーリズムの推進、地域の特性を活かした観光資源の発掘・磨き上げ・発信、本道の強み・特性を活かしたMICE誘致の推進など、観光地づくりと多様なニーズを的確に捉えたプロモーションを一体的に推進する。
現状と課題	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） 新たなインバウンドをはじめとする道内外からの旅行客を獲得するためには、国や地域と連携しながら、対象国に対する効果的なプロモーションの展開が必要。 （MICE誘致支援の実施） MICEは、国内外から多くの参加者が集まり、消費活動による経済効果はもとより、周辺地域を含めた開催地域のブランド力の向上など、幅広い効果が期待できるものであるが、他府県との競争や、開催地の道央圏への偏在が課題となっており、関係者との連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かした取組が必要。

〈主な取組〉

今年度の取組	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） ・国内外における観光需要回復の波を確実に捉え、多様化する旅行者ニーズや市場特性に応じた戦略的なプロモーションを展開するなど国内外の需要の喚起に取り組む。 （MICE誘致支援の実施） ・国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して助成するなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。
実績と成果	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） ・首都圏や地方中核都市での各種PRやマスコミ、旅行会社を対象とした観光情報交換会の開催（3回のリアル併用開催含め計4回オンライン配信・総視聴者数1,571人）のほか、道内空港と直航便が就航している国・地域等に向けたWeb・SNS等（新規フォロワー数：国内88,861名、海外63,969名）を通じた情報発信などにより、国内外観光客の誘客促進を図った。 ・全国で開催される観光PR催事（全国26都市31会場）へ出展したほか、道内各地（4地域）の特性を活かした国内外プロモーション事業等（国内プロモーション16件、海外プロモーション14件、パブリケーション7件、地域支援事業14件、Webｺﾝﾃﾝﾂ作成）を地域と連携して実施した。 （MICE誘致支援の実施） ・R5年度のMICE誘致支援事業においては、北海道MICE誘致促進助成金により16件の大型コンベンションの誘致につながったほか、商談会の実施（商談件数92件）、MICEエキスポへの出展（商談件数93件）、ファムトリップの実施や現地商談会等の開催（2コース）等を実施した。

参考HP①	北海道観光のくにづくり行動計画について	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/252-kodo keikaku/koudoukeikaku.html
参考HP②	北海道観光振興機構　観光統計データ　レポート一覧	https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/
参考HP③	北海道公式観光サイト	https://www.visit-hokkaido.jp/

令和6年度 基本評価調書	【1(2)A 0503】誘客活動の推進

〈指標分析〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	万人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
観光入込客数(道内客)		目標値	4,880	4,880	4,880	4,880以上	82.7%	C
		実績値	3,234	3,756	4,038			

設定理由	道民への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道内観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。		
指標公表時期	毎年調査、9月頃公表	出典(根拠計画等)	北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析(主な取組と成果)

コロナ5類移行や「HOKKAIDO LOVE割」等の施策があり回復はあったものの、物価高の影響などにより、目標には及ばなかった。引き続き、道内観光へ向けたPRを実施していく。

指標名②	増加	万人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
観光入込客数(道外客)		目標値	636	652	668	700以上	75.6%	D
		実績値	261	404	505			

設定理由	道外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道外観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。		
指標公表時期	毎年調査、9月頃公表	出典(根拠計画等)	北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析(主な取組と成果)

コロナ5類移行や「HOKKAIDO LOVE割」等の施策があり回復はあったものの、物価高の影響などにより、目標には及ばなかった。引き続き、北海道観光へ向けたPRを実施していく。

指標名③	増加	万人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
観光入込客数(外国人旅行客)		目標値	0.0	69	127	244以上	184.3%	A
		実績値	-	69	234			

設定理由	海外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により外国人観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。		
指標公表時期	毎年調査、9月頃公表	出典(根拠計画等)	北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析(主な取組と成果)

コロナ5類移行や入国緩和施策、さらに円安などの影響などにより、大幅に回復した。

指標名④	増加	件	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数(暦年)		目標値	125	128	131	155	17.6%	D
		実績値	3	0	23			

設定理由	道内で開催された国際会議など、MICE誘致・開催の推進状況を測る指標であり、戦略的なプロモーションへの課題の取組に関する成果を測る指標として設定。		
指標公表時期	毎年調査、翌年12月公表	出典(根拠計画等)	日本政府観光局(JNTO)国際会議統計

分析(主な取組と成果)

R4年の国内における国際会議開催件数(553件)は、コロナ感染症の拡大以降、国際的な移動の制約が続いたことで激減したR2年、R3年から比べると回復基調にあるが、R元年(3621件)比では15%に留まっており、依然として低調である。 本道においても同様であるが、R5年4月末に水際措置が撤廃されたことに伴い、今後、国際会議の日本開催に向けた国の誘致活動の強化や国際会議の開催件数の増加が見込まれることから、引き続き道による市町村の取組支援やコンベンションに対する助成など、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組んでいく必要がある。

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由			
指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【1(2)A_0503】誘客活動の推進

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	（課題） 国内では、コロナ後の全国旅行支援終了の初年度となることから、観光需要の低下が見込まれることに併せ、他県との誘客競争が激化することが見込まれる。 （MICE誘致支援の実施） 感染症の影響により、R2年度以降は国内外問わずMICE開催の低迷が続いているが、今後、MICE開催件数の増加が見込まれることから、MICEの誘致にあたっては道内市町村等との連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かした取組が必要である。 これらの解決に向けて、連携して取組を進めることが重要である。 （取組と成果） 観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの促進にあたっては、北海道観光振興機構をはじめ市町村、観光協会、関係企業・団体と連携のもと様々な手法による効果的な情報発信を図っている。 （MICE誘致支援の実施） 北海道MICE誘致推進協議会の構成市等と連携した取組により、R5年度には、16件の大型コンベンションの誘致につながったほか、商談会開催や展示会への出展、ファムトリップの実施や現地商談会等の実施により、道内各地域へのMICE誘致を促進することができた。
緊急性 優先性	（課題） 訪日外国人来道者数(実人数)はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は低迷が続き、現在はコロナ前の水準の回復途上の段階であるため、プロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援を継続的に行うことが必要。 （MICE誘致支援の実施） 感染症の影響により、道内における国際会議開催件数はR2が3件、R3が0件と激減したが、R4は23件と回復基調にある。今後、MICE開催件数が増加し、他都府県との競争が激しくなると見込まれることから、市町村への取組支援など、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組んでいく必要がある。 （取組と成果） 誘客競争の激化が予想されるプロモーションやMICE誘致の激化が予想されることから、国と地方の連携による戦略的なプロモーションの更なる推進やMICE誘致・開催支援などについて国に対し要望を行ってきた。(R6年6月) （MICE誘致支援の実施） 引き続き、北海道MICE誘致推進協議会の構成市等と連携し、商談会開催や展示会への出展などを実施し、本道へのMICE誘致の促進に取り組む。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
圏域別の宿泊延べ数(道央広域)の構成比	54% (R3年度)	54% (R4年度)	62% (令和5年度)
「施策目標」「現状と課題」に関する状況			
（課題） 全道の宿泊延べ数は、道央エリアに半数以上が集中しており、地域偏在が大きい状態となっている。			
（状況） コロナ5類移行などにより、観光客が回復してきているが、道央圏に集中する状況が続いている。			C

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
「施策目標」「現状と課題」に関する状況			
（課題）			
（状況）			

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
「施策目標」「現状と課題」に関する状況			
（課題）			
（状況）			

令和6年度 基本評価調書	【1(2)A_0503】誘客活動の推進

〈総合判定〉

指標判定	C※	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	c		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
（観光入込客数（道外客），国際会議等の開催件数（暦年））

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	道内客の観光入込客数は、コロナ禍から回復の途上の状況にあることから、引き続き、国の制度を活用しながら関係機関との連携のもと、需要回復の波を全道域へ波及させるため、道内の観光関連事業者に対する継続的な支援に取り組む。
	②	道外客の観光入込客数は、コロナ禍から回復の途上の状況にあることから、新規客とリピーターの拡大に向け、メディアやSNS等さまざまな媒体による情報発信に取り組むとともに、広域周遊の促進や将来的なリピーターとなる児童や生徒を対象とした教育旅行の誘致に取り組む。
	③	引き続き、国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して助成するなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、インバウンドをはじめとする道外からの旅行客を獲得するため、国及び地域の関係者などとの連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かしたMICEの誘致を推進することが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		国内外でのプロモーションの強化のため海外における商談会や本道への招聘事業等を実施するなど市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	観光需要回復の波を確実に捉えるため、コロナ禍で変化した旅行者ニーズや市場特性等を踏まえ、アドベンチャー・トラベルなど高付加価値なツアー造成の促進や長期滞在が見込まれ、観光消費額単価の高い欧米からの誘客を強化するなど、戦略的なプロモーションに取り組む。
	②	多彩な食や雄大な自然などの魅力をウェブやSNS等を通じて発信することに加え、旅行博への出展や旅行会社等の招聘などに取り組むとともに、教育旅行の誘致にむけて、体験学習などの教育旅行メニューの開発に取り組む。
	③	引き続き、国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	誘客活動の推進	施策コード	0503

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0321		一般	誘客促進強化事業（デジタル田園都市国家構想交付金）	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ北海道観光の再興を図るため、プロモーションを実施する。	観光振興課	0	556,129	556,129	0.8	0.0	0.8	562,537	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	拡充	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 国内外でのプロモーションの強化のため海外における商談会や本道への招聘事業等を実施するなど市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。 【事務事業のコスト】 道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた取組を進め、委託契約の競争性確保を後押ししていく。
0322		一般	MICE誘致支援事業費	本道へのMICE誘致を促進するため、MICE主催者に対するプロモーションを実施するとともに、市町村の受入環境充実等の取組を支援する。	観光振興課	**0**	28,454	28,454	0.3	0.0	0.3	30,857	③	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	改善	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 国内外でのプロモーションの強化のため海外における商談会や本道への招聘事業等を実施するなど市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。 【事務事業のコスト】 R7年度から、市町村等との調整が必要なコンベンション補助金業務等については道直営とした。
0323		一般	どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費	東京都に設置した「どさんこ旅サロン」を運営し、効率的な北海道への誘客促進を図る。	観光振興課	0	12,720	12,720	0.3	0.0	0.3	15,123	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	改善	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 国内外でのプロモーションの強化のため海外における商談会や本道への招聘事業等を実施するなど市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。 【事務事業のコスト】 道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた取組を進め、委託契約の競争性確保を後押ししていく。
0324		一般	北海道ロケーション誘致推進費	ロケーション支援窓口を庁内に設置し、ロケ地情報を効果的に活用した観光客の誘致を進める。	観光振興課	0	274	274	0.3	0.0	0.3	2,677					
0326		一般	北海道観光誘致促進事業費（国際観光推進事業）	海外の旅行専門誌等を活用し情報発信することにより、東アジアやオーストラリア等からの観光客誘致を図る。。	観光振興課	0	118,800	33,653	0.3	0.0	0.3	121,203			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。		道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた取組を進め、委託契約の競争性確保を後押ししていく。
0327		一般	北海道観光誘致促進事業費（地域プロモーション）	旅行会社や直接消費者と接遇する催事や旅行博等で、道内各地域の特性を生かしたプロモーションを実施。	観光振興課	0	121,557	60,000	0.3	0.0	0.3	123,960	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	改善	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 国内外でのプロモーションの強化のため海外における商談会や本道への招聘事業等を実施するなど市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行うなど、本道の価値や優位性を活かし、MICE誘致の促進に取り組む。 【事務事業のコスト】 道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた取組を進め、委託契約の競争性確保を後押ししていく。
0328		一般	北海道教育旅行活性化事業費	北海道への教育旅行の誘致を図るため、情報発信及び関係者に対するプロモーション等を実施する。	観光振興課	0	23,240	23,240	0.3	0.0	0.3	25,643			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。		道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた取組を進め、委託契約の競争性確保を後押ししていく。
0332		一般	観光企画費（観光振興諸費）	国内外の観光関連情報の発信及び収集、各種調査、関係機関との調整等を行う。	観光振興課	0	5,000	5,000	0.3	0.0	0.3	7,403					

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト(千円)	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応(令和6年度) 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0334		事務	関係機関・団体・関連産業に関する事務	北海道運輸局、北海道開発局、日本観光協会、北海道観光振興機構等関係機関・団体、関連産業との連絡調整等	観光振興課	0	0	0	0.3	0.0	0.3	2,403					
0335		事務	旅行業法に基づく登録事務	旅行業者及び旅行代理業者の登録、変更、更新登録、立ち入り検査、指導、苦情・相談対応等。	観光振興課	0	0	0	0.3	0.0	0.3	2,403					
0336		事務	観光審議会に関する事務	審議会及び部会の開催、開催結果のとりまとめ、審議内容に関する資料の収集・作成・提供	観光振興課	0	0	0	1.0	0.0	1.0	8,010					
0337		事務	北海道観光のくにづくり行動計画に関する事務	計画目標の達成状況の把握、道の施策の推進管理等。	観光振興課	0	0	0	1.0	0.0	1.0	8,010					
0338		事務	新たな財源確保に関する事務	新たな財源の確保の検討を進めるため、関係団体や地域での説明等を実施。	観光振興課	0	0	0	0.5	0.0	0.5	4,005					
0339		事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課	0	0	0	6.0	0.0	6.0	48,060					
0340		一般	テーマ別観光推進事業費	本格的なインバウンド回復にむけて、新たな市場特性や旅行者ニーズ等に応じたプロモーションを実施する。	観光振興課	0	35,456	35,456	3.0	0.0	3.0	59,486			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。		道の施策推進上の必要を検証し、スクラップアンドビルドによる事業構築を行い、事業の廃止を行った。
0341		一般	インバウンド再興事業費	本格的なインバウンド回復に向けて、旅行者ニーズ等に応じたプロモーションを実施する。	観光振興課	0	52,009	52,009	3.0	0.0	3.0	76,039			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。		道の施策推進上の必要を検証し、スクラップアンドビルドによる事業構築を行い、事業の廃止を行った。
0342		一般	欧米豪FIT旅行客誘客・受入事業費	欧米豪個人旅行者の道内への誘客・受入を促進するため、マーケティング調査やプロモーションを実施する。	観光振興課	155,419	0	0	3.0	0.0	3.0	24,030					
計						155,419	953,639	806,935	21.0	0.0	21.0						